





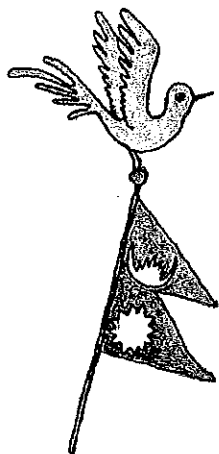



**ネパール**から  
 生産者がやってくる!!

～ネパールのバザール代表・土屋春代さんもごいっしょです!～

-  **とき** 8月25日(土) 10:00～16:00
-  **ところ** 南森町 イシカワビル 地下1F 第1・第2会場
-  **参加費** 500円
-  **内容** 10:00～13:00 ワークショップ

- ① 「ハナ・タトゥー」... ハナをアートする 川野 篤子さん  
 天然ハーブ、ハナの葉100%で肌に直接描くアートで、  
 10日～14日で自然に消えてゆきます。  
 費用は500円～1000円です。
- ② 「アクセサリーのリフォーム & アレンジ」  
 手作りアクセサリー G・Houseの金家真由美さん  
 アクセサリーリフォームの相談と その場で修理を致します。  
 費用は実費です。
- ③ 「布ナプキンを作ろう」 (株)ティアア 小野千佐子さん  
 オーガニックコットンで、軽い日用のナプキンを作ります。  
 10:30～12:00の90分の時間をみて下さい。  
 材料料費500円。



- 13:30～14:00 歓迎演奏  
 大阪市立扇町総合高校 吹奏楽部のみなさん 
- 14:10～15:20 ネパール生産者代表 ★ ネパールのバザール代表のお話
- 15:30～16:00 フェアトレード ファッションショー

→ 次ページへ続く

16:00 閉会

16:30まで ネパール・バザールのお洋服試着・販売（秋物もあります）  
その他 お野菜などのお買物をさせていただきます。



尚、事前に ご予約をされたみなさまには「手作り ネパールカレー」を昼食に  
ご準備いたします。（費用は500円）



会場内で 奈良農民連「旬の里・まみが丘」からの、安心・安全のお野菜などを  
販売いたします。

〔マイカップ・エコバッグをご持参下さいますようお願いいたします。〕



懇親会 18:00～20:00

ネパールの生産者代表とネパール・バザール代表・土屋春代さんを囲む懇親会です。

会場：りょうりや しるべえ

北区南森町2-2-13 TEL. 06-6362-6088

参加費：1800円

定員：20名です。事前に申し込んで下さい。



翌日の26日（日）、ネパールの生産者と土屋春代さんは、地元の扇町高校にて  
高校生のみなさんとの懇親会に参加されます。

その後、acchaのボランティアのみなさんとの懇親会。

27日（月）は、午前に北区の“切り工房RAU”（ガラス加工）、午後に岸和田の  
“木下織物工場”（和泉織物）への見学を企画しています。



たとえば「ダイヤモンドの指輪が100円で売られていたら、どれもが贗物だ」ということでしょうか。その値段では買えないことを知っているからです。でもそれが「バングラディッシュ製のスカートやネパール製のスパイスだ」としたら？ 私たちの多くは、きっと「安くラッキー！」と思うのではないのでしょうか。

実際、雑貨店やネットショップなどでは驚くほどの安さで発展途上国の商品が売られています。タイとパキスタンで暮らしていたわたしですが、時々、現地を買うよりも安い物を日本で見かけて、信じられないような気持ちになります。向こうの友人に尋ねても、みな首をかしげます。どうやったらこの値段で作れるのだろう？と。

もちろん、輸入に関する諸費用が税関や航空会社相手に値切れるはずもありません。ということは、値切られているのは、現地の人たちが本来もらえるはずの報酬です。場合によっては、自国内で正当にもらえるはずの額よりも少ない報酬で、彼らは海外への輸出商品を作っているのです。いったいなぜ？ そんなことになるのでしょうか。

それは言うまでもなく「値切り」です。「定期的に1000個注文するから安くして」「注文ゼロより利益が出る分マシでしょ」という輸出入業者の工ゴで、弱い立場の生産者はさらに立場を弱くしていきます。

忙しいゆりに収入の少ない状況で身体を壊し、として医療費のためにまた家族が過労を強いられ…。

現時点では、この悪循環を断ち切るための唯一無二の手段がフェアトレードというシステムだと思います。

「輸入品が買えないほど安く買える」理由や「値切り」のいまつく先も、高く感じるけれど、本来は正当な価格であるフェアトレード製品を選ぶことを、ちょっとだけ考えてみませんか？

## エチオピアレポート ちぶちかこ

昨年10月、私は里子に会うためにエチオピアに行った。

里子は「アベベ」という10才の少年で、一昨年学校に通う教育費を送るだけの里親になった。彼は低賃金の農夫の父と姉妹の7人兄弟の末っ子で、雨漏りのするバナナの木の葉だけで作られた家に住み貧困故に姉妹も学校に行けず、仕事にも就いていないという支離が必要な状況だった。今回訪れた時には父も亡くなり、姉妹も家を出て兄と4人で暮らしていた。

義務教育のないこの国の山村では、子供達は水汲みや薪拾い、野獣の見張り番など家の手伝いが日課である。食事も2日に1度で、アベベも胃が少し膨らんだ栄養失調の体型をしていた。服も1着しかなく、木曜日が洗濯の日で学校が休みにあっている。靴が買えない裸足の子どももいる。

インドやアフリカには裸足が原因で菌が入り、象のような足になる象皮病という怖い病気が今も多く存在する。アベベは里子になったことで制服や靴が与えられ、として学校で1日1回食べさせてもらっている。

モノが溢れ、食べることも着ることが当たり前、電気や水も気にせず使っている日本の私たち。生まれた国が違うだけ、こんなにも違っているのかと思う。



こんにちは、アチャのお客のナベです。今回はご指名ありがとうございます。せっかくの機会なので、アチャのお客のYさん、Sさんとの旅のお話をします。

きっかけは、お店の座談会にて仏像トークを盛り上げたこと。その後 飲みに行ったり、寺巡りをして話はずみで、とうとう朝一番の二月堂を見ましょう！と泊まりがけを奈良に行くことに。宿泊先は なら町のゲストハウス。ちょうど4月の第1週目、桜が咲きかけるものの、まだ寒い季節でした。印象的なことをざっとあげてみると、

- ▲ なら町の春鹿酒造の利き酒
- 地元の野菜をふんだんに使ったイタリアン+ワインの晩飯
- いろりで焼いたお羊ととば蒸し
- ▲ 冷えた体を芯から暖めてくれる銭湯
- 布団ごしに伝わる 湯たんぽのぬくもり
- 青空の下、咲き誇る氷室神社のしだれ桜
- ▲ 朝の二月堂から見下ろす奈良の街
- 興福寺国宝館の千手観音像の迫力と阿修羅像の華奢な美しさ、見せ方の秀逸さ
- 新薬師寺の十二神将像の朴訥な力強さ

何より今回の旅を通じて思ったのが、「好き」って不思議だなあと。ともども仏像が好き！からこの旅も始まったわけです。あたくし別の人間なのに、同じ物を「好き」だと思えることが不思議です。そういう人に巡り会い、わかち合えること、さらにどこから広がっていくことがすごいなあと。社会へ出るとどんなパターンだけではありませんから、余計に思うのかもしれない。

フェアトレードの考え方が好き、雑貨が好き、あるいは店主の阿字地さんが好き... アチャというお店自体が、様々な「好き」にある場所であることを感謝しつつ、これで終わろうと思います。



フェアトレードショップ

**accha**

大阪市北区天神橋 3丁目 2-20

H.P. <http://www.accha.jp>

Mail [info@accha.jp](mailto:info@accha.jp)

TEL & FAX 06-6357-7739

営業時間 10:00~19:00 定休日 毎月曜日・※3日曜日